

大滝げんきプラザ 安全ガイド

安全にプログラムを実施するために

自然の中での活動は思わぬ事故を引き起こすことがあります。

また、活動で扱う刃物や火などは便利な反面、使い方を誤ると自分や仲間を傷つける可能性があります。

体験活動を行う際には、「大丈夫だろう」ではなく、「(事故が)起こるかも知れない」と考え、起こりうる危険を自ら探しながら活動することが大切です。事前に危険な場所を把握し、事故の起こる可能性を考えて安全に活動してください。

大滝げんきプラザ 安全ガイド 「屋外炊事・焼き板」

代表的な危険内容(これは一例です)

○切り傷

- ・包丁、ピーラー、のこぎりなどの刃物

○やけど

- ・熱した器具に触れる(なべ・飯盒・鉄板・羽釜など)
- ・せいろのふたを開けた時の蒸気
- ・燃えカスや耐火レンガ、ロストル、鉄板などに触れる
- ・調理後の鍋や飯盒、せいろなどの移動の際の転倒や他者への接触
- ・焼却炉に燃えカスを移動させる際の転倒や他者への接触
- ・焼却炉の取っ手以外に触れる
- ・冷める前の焼いた焼き板に触る

○薪のとげが刺さる

○焼却炉の蓋で指などを挟む

○鉄板の移動の際に足の上に落とす

○鉄板の移動の際に鉄板の角が刺さる